

病院外心停止に対する包括的治療体制の構築に関する研究

2015年1月8日から2027年5月31日までに病院外心停止のために治療を受けた患者さまとご家族さま

研究協力のお願い

当科では「病院外心停止に対する包括的治療体制の構築に関する研究」という研究を行います。この研究は、他の研究機関との共同研究として、2015年1月8日より2027年5月31日までに日本医科大学多摩永山病院救命救急センターにて、病院外心停止のために治療を受けられた患者さまの治療成績を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。本調査で用いた情報は、共同研究機関へ提供させていただきます。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。なお、お申し出があった時点ですでに研究結果が学会発表や論文などで公表されていた場合には、個別の情報のみを削除することはできませんのでご承知おきください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：病院外心停止に対する包括的治療体制の構築に関する研究
研究予定期間：2015年1月8日（倫理委員会承認日）より2028年5月31日
調査対象登録機関：2015年1月8日より2027年5月31日
当院における研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 救命救急科 久野 将宗

(2) 研究の意義、目的について

日本救急医学会主導の多施設共同研究です。院外心停止症例の搬送先病院の治療体制、搬送後の集中治療内容を登録し、院外心停止例の社会復帰率向上に寄与する適切な搬送先選定基準および治療方法を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について）

2015年1月8日より2027年5月31日までに日本医科大学多摩永山病院救命救急科にて病院外心停止にて来院された患者さまについて、以下の情報を収集、使用します。

- ①基本情報登録：〈患者情報〉性別、年齢、救急隊時刻情報（覚知時刻、病院収容時刻）、適格基準
- ②ウツタイン（病院前救護）記録：救命救急士乗車、医師同乗、普段の生活状態、心肺停止の目撃、発生場所、居合わせた人による心肺蘇生、市民による除細動、救急隊時間経過（覚知時刻、現場到着時刻、患者接触時刻、隊員による心肺蘇生開始時刻、病院収容時刻）、救急隊到着時の状態、救急隊等活動中の医師による2次救命処置、救急隊到着時の最初の心電図波形、除細動、最終気道確保器具、静脈路確保、エピネフリン投与、病院収容前の心拍再開。
- ③病院到着後記録：病院収容時刻、ドクターカー出場、病院収容後の最初の心電図波形、中枢温度、身長・体重、病院収容後処置（除細動、気管挿管、体外循環、補助循環、心血管カテーテル検査、心血管ステント留置、低体温療法）、心停止中薬剤使用、患者背景、血液データ、心停止に至った原因、病院搬入後の状態、発症1ヵ月後生存、発症90日後生存、発症1ヵ月後の脳機能、発症90日後の脳機能。

これらの情報は、研究代表機関である京都大学へ提供されます。これらの情報は各施設により匿名化された状態で登録され、全体の情報は日本救急医学会が運営するサーバー上にて管理されます。

(4) 共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：京都大学環境安全保健機構健康管理部門/附属健康科学センター
研究全体の責任者：京都大学環境安全保健機構健康管理部門/附属健康科学センター 教授 石見 拓
その他の共同研究機関：全国100施設以上の救急部門

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(7) 当院における問い合わせ等の連絡先

担当者：救命救急科 久野 将宗
日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局
〒206-8512 東京都多摩市永山 1 丁目 7-1
電話番号：042-371-2111 (代表) 内線：2302
メールアドレス：nagayama-chiken_center@nms.ac.jp